

令和5年度第2回社会教育委員の会議

令和5年5月22日(月)

午前9時30分開会

開催日時	令和5年5月22日	開会 9時30分 閉会 11時00分	
場 所	小金井市役所第二庁舎8階801会議室		
出席委員	議 長 柴田 彩千子 副 議 長 福井 高雄 委 員 石原 芳 委 員 富田 謙次郎 委 員 諏訪 啓二郎	委 員 金澤 大恵 委 員 北澤 隆司 委 員 森本 榮子 委 員 鈴木 哲也	
説明のため出席した者の職氏名	生涯学習部長 梅原 啓太郎 生涯学習課長 三浦 真 図書館長 内田 雄介		
事務局	生涯学習係長 倉澤 淳子		
傍聴者人数	1人		

日程	議 題	
第 1	協 議 事 項	<ul style="list-style-type: none"> (1) 会議録の承認について (2) 管外視察研修について (3) 社会教育関係団体への補助金交付について (4) 地域文庫補助金交付について (5) 第31期社会教育委員の会議のまとめについて (6) その他
第 2	報 告 事 項	<ul style="list-style-type: none"> (1) 今後の会議等の日程について

柴田議長

皆さん、おはようございます。

これから令和5年度第2回社会教育委員の会議を始めたいと思います。よろしくお願いします。

本日は、諏訪委員と黒木委員から遅れて御出席という御連絡をいただいております。それから、鈴木委員に関しましては遅れていらっしゃるかと思えます。

定員が充足されていますので、始めさせていただきたいと思えます。

まずは、資料の御説明をお願いいたします。

倉澤生涯学習係長 では、御説明いたします。お配りしておりますのが、本日の次第、ホチキス留めのものが本日の資料でございます。通しで両面印刷させていただいております。資料1が令和5年度第1回会議の会議録、資料2が管外視察研修の行程表(案)、資料3が社会教育関係団体補助金交付申請一覧と要綱、資料4が地域文庫補助金交付内訳と要綱、資料5が第30期社会教育委員の会議のまとめ、資料6が令和5年度生涯学習部予算概要、その他、委員の皆様にも月刊こうみんかん5月号をお配りしております。

その他、本日、柴田議長より「コミュニティ・スクールってなんだろう？」のパンフレットをいただいて、お配りさせていただいております。

資料の説明は以上です。

柴田議長

ありがとうございました。皆様、お手元の資料はそろっていらっしゃいますでしょうか。ありがとうございます。

では、議題に入りたいと思えます。

まずは、議題(1)会議録の承認につきまして、事務局からお願いいたします。

倉澤生涯学習係長 資料1を御覧ください。こちらは、令和5年度第1回の会議録でございます。事前に、委員の皆さんに修正していただき、確認させていただいているものです。よろしければ、本日、御承認をいただ

ければと思います。

以上です。

柴田議長 こちらの会議録につきましては、事前に皆様にお目通しいただいていると思いますが、よろしいでしょうか。

では、こちら、承認されました。

次に進みたいと思います。議題の2番です。管外視察研修についてです。こちらにつきましても、事務局から御説明お願いいたします。

倉澤生涯学習係長 資料2を御覧ください。7月の管外視察研修について御説明いたします。

日程のほうは、一番出席できる委員の皆様が多かった7月5日水曜日に決定いたしました。

前回の会議で決めていただきました清瀬市と西東京市に依頼をいたしました。その結果、清瀬市さんは受入れが難しいということでした。伺った理由としましては、昨年度はコミュニティハウスを活用した地域学校協働活動はなかったということで、今年度につきましてはまだ検討中であり、視察を受け入れられる状態ではないという御説明をいただいております。

事務局で判断させていただいて、その後、小平市のなかまちテラスに依頼をさせていただきまして、今回は西東京市と小平市を視察することとさせていただきたいと思います。

当日の行程は表のとおりとなっております。当日はマイクロバスで移動しますので、12時50分に市役所本庁舎の駐車場にお集まりいただきたいと思います。

本日、現時点で出欠を確認させていただければと思います。よろしく願いいたします。

柴田議長 御説明をいただきまして、ありがとうございました。

こちらの件につきましては、御質問や御意見ございますでしょうか。
鈴木委員。

鈴木委員 御調整ありがとうございました。

明保中学の管外視察の件ですが、1つ皆様に御報告があります。

校長の宮本先生がこの4月に立川四中に異動されました。管外視察先として御提案した理由は、委員の皆さんに宮本先生の取組やお考えについてお話を聞いていただくことも大変重要なポイントでした。

僕、簡単に諦めないほうなので、立川四中へ伺ってお話をぜひ聞かせていただきたいと、先生に直接お願いをいたしました。そうしましたところ、学校へ来ていただければ喜んでお会いするということでしたので、もし希望される方がいらっしゃれば、管外研修とは別の形で機会を設けさせていただきたいと思います。

ちょっと補足ですけれど、赴任先の立川では、中学生が地域について調べた学習成果等を、モノレールの駅で自分たちでアナウンスするなどの企画を既に進めていらっしゃるとおっしゃっていました。子供たちに何で多くの体験機会を設けるのですかとお尋ねしたところ、家庭でも地域でも大人に愛された子たちは、下の子たちを大切にすると。こうやって人のつながりが地域でできていくのですというお話をされておられました。すばらしい方ですので、ぜひお話を聞きに行きたいと思います。

以上です。

柴田議長

ありがとうございました。

ほかに御質問や御意見ございますでしょうか。金澤委員。

金澤委員

何か特別な持ち物など、もしやっておいたほうがいいことがあれば、教えてください。

柴田議長

事務局からお願いします。

倉澤生涯学習係長 特に持ち物などは必要ございませんので。

金澤委員

初めてで、すみません、分かりました。ありがとうございます。

柴田議長

ほかに、御質問、御意見ございますでしょうか。

森本委員

鈴木さんの先程の四中の校長先生とは、既に御予定とか日にちは決まっているのでしょうか？。

鈴木委員 いえ、まだです。

森本委員 まだ、そこまでは話していない？

鈴木委員 まだです。有志の方、希望の方がいらっしゃれば調整して。

森本委員 はい、分かりました。

鈴木委員 うちの車は8人乗りですので、7人乗れます。

柴田議長 立川第四中学校ですね。

鈴木委員 はい、そうです。

柴田議長 関心のある方はぜひ鈴木委員に御連絡をお願いします。
立川市は全校コミュニティ・スクールを設置しておりまして、学社一体という、学社連携ではなくて学社一体というスローガンの下に、コミュニティ・スクールの施策を進めているところです。
では、福井委員、お願いします。

福井委員 金澤委員から「何か資料は」ということだったんですけど、2か所目に行く小平市なかまちテラスというチラシが以前配られていますから、これを目通しをされて、私も持っていく予定ですけど、持って行かれたほうが参考になると思います。
以上です。

金澤委員 そうですね、分かりました。そういたします。ありがとうございます。

柴田議長 ありがとうございます。
ほかに御意見、御質問ございますでしょうか。よろしいでしょうか。
では、出欠の確認をさせていただきたいと思います。当日、御出席される方は挙手をお願いいたします。

(出席者挙手)

柴田議長 全員です。ありがとうございます。今日、御出席の方は全員、管外視察へも御出席ということで承りました。

ほかに御質問、御意見ないようでしたら、次に進みたいと思います。

では、議題（３）番です。社会教育関係団体への補助金交付についてです。こちら事務局長より御説明をお願いいたします。

倉澤生涯学習係長 御説明いたします。資料３を御覧ください。本年度の社会教育関係団体への補助金交付予定一覧でございます。

社会教育関係団体に対して補助金を交付しようとする場合には、あらかじめ社会教育委員の会議の意見を聞いて行わなければいけないと社会教育法で定められておりますので、議題とさせていただきます。

実際の補助金の交付は、小金井市社会教育関係団体補助金交付要綱に基づき行っております。

補助の対象となる団体は、社会教育関係団体として登録してから１年以上の実績があり、かつ構成員の２分の１以上が市内在住、在勤、または在学の団体です。

１団体につき５回が補助の上限となっております。

あわせて、小金井市立小中学校ＰＴＡ連合会と小金井市スカウト協議会についても補助申請が出ております。こちらについては、小金井市補助金交付規則に基づいて交付しているものです。

説明は以上になります。

柴田議長 御説明ありがとうございました。

こちらの件につきまして、御意見、御質問ある方は挙手をお願いいたします。福井委員、お願いします。

福井委員 事務局に確認します。団体名の上段の１行目の黄金ネットワーク、第２３回クリスマス会と書かれているんですけど、令和４年度と同じ資料なんですけれど、回数が第２４回クリスマス会が令和４年度で発行されているんですけど、２５回に修正かと思うんですけど

ど、いかがでしょうか。

倉澤生涯学習係長 その件につきまして団体に確認したところ、令和2年、令和3年も同じようにクリスマス会を開催予定だったところですが、交付申請をした後にコロナの状況で中止したという経緯がございまして、今回が23回で正しいということで確認しておりますので、御了承いただければと思います。そのことが原因で2回分ずれてしまっているということです。令和4年度にお配りした資料のほうは22回だったということで御了承いただければと思います。

柴田議長 よろしいでしょうか。

福井委員 あともう1点。補助金の対象の団体は、継続した場合は3年が限度という理解で4年目は打切りですか。

倉澤生涯学習係長 5回が限度です。

福井委員 黄金ネットワークは今回が2回目という扱いでしょうか。

倉澤生涯学習係長 今までの交付が平成30年、令和元年、令和4年と交付しておりますので、今回は4回目です。

福井委員 4回目。分かりました。

柴田議長 ほかに御意見や御質問ある方。富田委員。

富田委員 補助対象事業の中で、下から2番目のPTA連合会から出ている児童生徒の健全育成及び環境整備と入っているんですが、具体的にはどんな整備をされるのか、ちょっと教えていただけますか。

倉澤生涯学習係長 内容は、児童生徒の健全育成、非行防止、交通安全運動、また研究会等の開催を通じて保護者と教職員が研さんする、学校の施設設備の充実、教育環境の整備に努める、その他、今回、PTA連合会の目標に合致する事業への参加援護となっております。

そういったことが対象になっておりまして、具体的には、支給し

ます15万円のうち、内訳が、事業費が8万5,000円、運営費が1万円、印刷費が5万円、消耗品費5,000円の合計の15万を補助しております。

一番大きなものは事業費ですが、こちらの主な用途は各PTAの部会交流会、あと講演会の開催費などに当てた補助となっております。

説明は以上です。

柴田議長 よろしいでしょうか。

富田委員 ありがとうございます。

柴田議長 福井委員。

福井委員 ちょっと詳細で文字だけの話なんですけれど、下段の団体名の隣に、補助対事業となっていますから、対象事業として修正していただきたいと思います。

倉澤生涯学習係長 ありがとうございます。

福井委員 令和4年度も同じ内容でしたから、多分、そのまま添付されたと思いますけれど、次回以降は対象事業という形で記載してください。以上です。

柴田議長 ほかに御意見、御質問ありましたらお願いします。よろしいでしょうか。

では、こちら、承認されました。

では、続きまして議題(4)です。地域文庫補助金についてです。こちらは、図書館長より御説明をお願いいたします。

内田図書館長 それでは、地域文庫補助金交付について御説明申し上げます。

図書館で所管いたします地域文庫補助金につきましては、社会教育法の第13条によりまして、社会教育委員の会議の御意見を伺った上で、交付決定等を行うよう定められております。

図書館では、小金井市地域文庫補助金交付要綱に基づきまして、

読書普及活動の活発化を図るため、図書及び読書に関する研究、調査、相談、講習、その他の活動を行い、地域社会に奉仕する地域文庫に対して、補助対象経費の2分の1を限度、補助上限額は3万円として補助金を交付するものでございます。

令和5年度の地域文庫補助金につきましては、小金井市子ども文庫サークル連絡会から申請が出ております。小金井市子ども文庫サークル連絡会は、地域で活動している文庫サークル7団体で構成されており、子どもと本を結ぶという事業に対して補助金を交付するものでございます。

この子ども文庫サークル連絡会では、例年、講演会や講座など、大人から子どもを対象としたイベントを実施されておりまして、その事業に対して本補助金を交付しております。

説明は以上でございます。

柴田議長

御説明いただきまして、ありがとうございました。

では、本件につきまして、御意見、御質問のある方は挙手をお願いいたします。福井委員、お願いします。

福井委員

事務局に確認しますが、地域文庫補助金で、この団体名が去年も申請されて同じ金額が交付されているんですけど、例えば、対象になる地域文庫補助金の団体というのは何団体ぐらいお考えかどうか、お聞きしたいと思います。

柴田議長

事務局、お願いします。

内田図書館長

現在、1団体で、ここに7つのところが加盟しておりますので、そこで内部で配っていただく形になりますけれども、何団体というのは、市内に何団体あるかということですか。それは申し訳ないですが、ちょっと把握していない状況です。

福井委員

逆に、この補助金が出るというのを知らない、こういう文庫関係の団体もあるかも分かりませんから、ぜひ、その辺の広報を含めて、補助金が出るよということも示されたほうがいいんじゃないかと思えます。

内田図書館長 こちらに関しては市報とホームページで一応、広報はしているんですが、御存じないところもあるかもしれませんので、そこは鋭意気をつけたいと思います。

福井委員 お願いします。

柴田議長 ほかに御意見、御質問のある方、挙手をお願いします。よろしいでしょうか。

では、本件につきまして承認されました。

では、次に、議題（５）です。第３１期社会教育委員の会議のまとめについてです。こちら事務局長より御説明をお願いいたします。

倉澤生涯学習係長 資料５を御覧ください。お配りしているのは第３０期の小金井市社会教育委員の会議のまとめです。

今期、皆様、３１期につきましても、本日と、７月の視察を挟みまして８月で任期の最後の会議ということになります。任期ごとに定例といいますか、次の期に引き継ぐという意味で、こういった会議のまとめを作っていただいております。提言を出していただくときもあります、何か期としてまとめというものをつくっていただいております、今回３１期についても御検討いただければと思います。

柴田議長 御説明ありがとうございます。今期、第３１期もこのようにA4、1枚程度に社会教育委員の会議のまとめをまとめることになっております。

こちらの資料５は、前の期、第３０期の委員の方々からの申し送り事項でございます。最後の「来期の委員の方へ」というところを御覧ください。こちらにありますように、第３０期のほうでは、第４次の生涯学習推進計画の策定を中心に会議を行っておりまして、今期に期待されている活動内容としましては、小金井市での地域学校協働活動について、今後もさらに実施校が増えていく中で、小金井スタイルというものを生かした学校と地域の連携をどのように実現できるかについて、継続的に検討をしていただきたいという申し送りがございましたので、こちらに沿って、今期のまとめをつくることになろうかと思っております。

この件につきまして、まとめ方の方向性など、御意見ございましたら、この場で承りたいと思います。御意見ある方、挙手をお願いしたいと思います。福井委員、お願いします。

福井委員

来期の引継ぎ事項ということで、なかなかすぐ、今日の出席の皆さんが御回答しにくい面も多々あると思いますから、事務局のほうで、例えば、期間を1週間なり、10日なり設けて、事務局のほうに投稿してもらおうという提案も1つあるんじゃないかと思いますし、今日、御意見される方はしていただいて、事務局のほうでまとめるといいう方向がいいんじゃないかと思います。

私から、引継ぎ事項として一番下を書いてある内容として、2点あるんですけど、ぜひ、来期の引継ぎ事項として、地域学校協働活動の推進ということで、小金井市の公立小中学校はスタートしておりますから、できましたら社会教育委員として、生涯学習推進活動をやっているコーディネーターとの連携をより深める、またできるなら支援する取組が必要じゃないかということで、引継ぎ事項の1点目を提案したいと思います。

2点目は、第4次生涯学習推進計画で5年計画をつくりまして、今年はちょうど3年目に当たるんですけど、1回だけ森本委員から、この第4次の生涯学習推進計画の100年計画のことでお話しされたことがあったんですけど、我々がやっている生涯学習推進計画書の中の施策の方向性として3つの大きなくりがあるうちの2番目に書かれているのが、地域とともに作る生涯学習ということで生涯学習の内容を検討しているんですけど、あと2つの誰もが生涯学習に親しむということで、公民館・図書館の利用という面の、社会教育施設の利用というような内容の議論はしていないというのと、3点目の生涯学習のネットワークづくり、情報発信体制の充実ということが課題であり、一切話されていないものですから、できましたら、最後の2つの生涯学習の取組ということで、来期の検討事項ということで提案したいと思います。

以上です。

柴田議長

御意見ありがとうございました。福井委員の今の意見に関連しての御意見でも結構ですし、ほかに御意見ということでも結構ですので、何かございますでしょうか。挙手をお願いしたいと思います。

鈴木委員。

鈴木委員

これは、僕が社会教育委員をやらせていただく前の期の方々がお決めになったことだと思うんですね。小金井スタイルを生かした地域との連携をどのように実現できるかについて、社会教育委員の会議として検討をし、より具体的な取組について検討しと書かれているんですけど、委員として参加させていただいて9月で2年になりますが、福井委員も今おっしゃっていたように、取組の具体化についてはあまり進展していないんじゃないかなと感じています。検討ばかりしていても、何も実現はできないと思いますので、そろそろ具体的に動いたほうがいいんじゃないかなと思います。

それで、社会教育委員にならせていただいてから、明保中の話もそうですけれど、幾つかCSの会議も前回の会議以降傍聴させていただいて、そこで思ったのはCSと一くくりにしても、学校や地域によってCSに求められていることが随分違うということです。

つまり、この会議として何かを行おうとすれば、市内のいろいろな地域で活躍していらっしゃる方の話を聞くことがもうマストで、聞かねばならないというようなことじゃないかなと思っています。ここまでが意見です。

これ、意見がなければ……、意見の後で結構ですけど、ここからはお尋ねで、先週と先々週、2度、週末、南小にお邪魔してPTA関連の総会後に行われるワールドカフェに参加をしてきました。その場に、梅原部長も図書館長も公民館長もいらしたと思うんですけど、もしよろしければ、あのような形で多くの方が話し合う機会について、もうコロナは明けましたし、その件についてどのような御感想を持たれたか、お聞かせいただければと思います。よろしくお願いします。ほかの方の御意見がなければ、その後でということをお願いします。

柴田議長

いかがでしょうか。では、生涯学習部長から御意見をいただきたいと思います。

梅原生涯学習部長 つい2日前、土曜日に私も参加させていただきまして、この中でも石原さんと鈴木委員、黒木先生もいらっしゃいましたかね。ということで、南小の体育館で、大変大勢で、保護者の方と校長先生、

せて頂きましたので思い入れがあります。先ほど鈴木委員がおっしゃいましたように、もう推進計画を作ってから3年たとうとしております。小金井市での地域学校活動について今後さらに小金井スタイルを生かした学校と地域の連携をどのように実現できるか、この実現に向けて何をするか、立派な冊子をいかに生かしていくかという、より具体的に取り組んでいく方策を私たちが考えて、今期のまとめになるといいなと思っております。

第4次の生涯学習推進計画の策定について、先ほど福井委員がおっしゃいましたように、誰もが生涯学習に親しむ環境というのと、ともにつくる生涯学習ということ、それから、ネットワークづくりという3つがございました。

これまで、生涯学習活動ができなかった人たちも積極的に参加して、0歳から100歳までの生涯にわたって学び続けられる環境づくりを目指すことを基本理念として定め、そこに向かって活動が進められてきたこと、私は策定に関わった1人として大変うれしく思っております。それが、もっともっと具体的な形として見えてきたらうれしいなと思っております。

それから、第3次の小金井市生涯学習計画の評価のところもあったと思いますけれども、これについてB評価というのは、アフターコロナになった今、次期にはA評価になるようにと願っておきます。

それから、東京都の社会教育委員連絡協議会の中で、第5ブロックの幹事会のときでしたか、結城座のあやつり人形の公演を見ました。応援していけたらいいかなと思いました。

それから、生涯学習支援センターについては、その必要性について大事なことだと思います。積極的に進めていくべきだと思っております。

地域学校協働活動についてですけれど、支援や運営に関わっていらっしゃる方々が、とてもすばらしい活動をしていますので、もっと広がっていくといいのではないかと感じたのをここでお伝えさせていただきます。以上です。

柴田議長

御意見ありがとうございました。ほかに今期の御感想や来期に向けての御意見などありましたら、挙手をお願いいたします。

鈴木委員、お願いします。

鈴木委員

先ほどのワールドカフェの話の続きなんですけれど、いろんな人の話を聞くという機会を設けるということですけど、南小に、この分野に明るい村上先生が戻っていらっしゃったということで、風越学園のほうへ行かれたりして積極的に動かれている方ですけど。小金井には本当にいろいろな実力のある人がいて、何というか、うまく連携できていない部分というか、この人たちをほっておくのはもったいないと思っているんです。はた目に見ていると、原っぱにダイヤモンドが落ちているけど、原っぱが邪魔で誰も気がつかないみたい。それぐらい本当にすごい人だなと思う人たちがいるので、この人たちをうまくつないでいけるようになれば、それはもっといいんじゃないかなと思っていて、社会教育委員の1つのテーマじゃないかなと思っています。

それで、コーディネーターさんが今、中心になっていろいろなことを調整してくださっているんじゃないかなと思って、皆さんすごい方なんですけど、コーディネーターさん頼みということではなくて、もうちょっと、前回の会議の石原委員がおっしゃっていた部活の指導者のこともそうなんですけれど、うまく必要な人に地域でつながっていけるような仕組みというのができればいいかなと思っています。

だから、次期、9月からになるのかと思いますけど、もうちょっと、この辺の具体的な話を、どんなふうにしていけばいいのかなというのができればいいかなと思っています。

以上です。

柴田議長

ありがとうございました。

ほかに御意見ありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

今、いただきました御意見ですけれども、第4次の生涯学習推進計画で3つの方向性がございます。資料の上段のほうに書かれたものですけれども、こちらを実現すべく、来期は特に今、皆様からいただきました御意見としましては、地域学校協働活動やコミュニティー・スクールに関しましては、コーディネーターとの連携や支援ということや、取組を具現化してという意味で、先ほど南小のワールドカフェの事例が挙がりましたが、恐らく、これからこういうカフェ形式とか、あと熟語と言われている話し合いを各学校が実施して

いくことになるのではないかと思います。南小の場合は児童は入っていなかったんですか。

鈴木委員 今回は入っていませんでした。

柴田議長 入ってなかったんですね。

鈴木委員 児童が入れば、なお ます。

柴田議長 そうですね。様々な層の学校に関わる方々との情報交換会であるとか、それから地域の情報を収集する場として機能していけばいいと思いますけれども、こういった意味で、生涯学習支援センターがしっかり機能していけば、コーディネーターさんにとっての情報の源泉になるので、コーディネーターの役割をより果たされるものと思いますので、引き続きまして、生涯学習支援センター機能の必要性というものも継続で訴えていければと、私個人としては思っております。

来期の委員への引継ぎ事項につきましては、次回の8月の会議で、こういった資料、A4のものを原案として、事務局のほうと検討しまして出させていただきたいとは思いますが、皆様、今日、数名の方から御意見賜りましたけれども、次回、こちらの原案に基づきまして補足をしていただいたり、次回の8月の会議では今期の総括という位置づけになるかと思っておりますので、皆様から今期の皆様の活動の振り返りをいただければと思っておりますので、御準備をいただければと思っております。

このような進め方でよろしいでしょうか。

三浦生涯学習課長 議長、できれば、皆様、個別に御意見がある方もいらっしゃると思うので、先ほど副議長から御提案がありましたとおり、6月15日ぐらいまでに何かありましたら事務局のほうにメールベースでいただいて、集約させていただきたいと思っております。

その後、議長のほうに、こんな形で皆様からメールがありましたという形でお流しをさせていただいて、8月15日には一定、成文化したものを皆様にお示しする段取りで進めてまいりたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

柴田議長

はい、よろしくお願いいたします。

では、6月15日という期限が一応ありますので、6月15日までに事務局までメールでお知らせいただければと思います。よろしくお願いいたします。

三浦生涯学習課長 よろしくよろしくお願いいたします。

柴田議長

では、議題につきましては以上でございます。

ほかに、その他としまして、何かございますでしょうか。事務局のほうから何かございますでしょうか。

三浦生涯学習課長 第1回目の会議のときに、予算の概要について、私のほうからざっと御説明してしましまして、資料がないのに分かりにくいという御発言いただきまして、大変申し訳ございませんでした。

資料6のほうを御覧ください。こちらが令和5年度生涯学習部の予算の概要になってございまして、第1回目で説明させていただいた事項を一表化したものでございます。

上のほうから御覧いただきまして、社会教育費というのは社会教育費、図書館費、公民館費の全体でございます。予算額が7億5,777万9,000円となっておりまして、前年に対し3,092万8,000円の増ということになってございます。

保健体育費は体育、保健、スポーツ団体に係る保健体育そのものに係る予算でございます。こちらにつきましては、ちょうど昨年度から大きく数字はへこんでございすけれども、総合体育館の大規模改修工事が終了したことによるもの等々でございます。

主な事業につきましては、そちらの表の中を御覧いただければと思います。

説明につきましては以上でございます。前回、大変失礼いたしました。

柴田議長

御説明ありがとうございます。

では、その他の事項としまして、こちらの前回会議の令和5年度生涯学習部の予算の概要説明を改めていただきました。こちらにつきまして、皆様から御意見、御質問など、さらにございましたら、

お願いいたします。

富田委員

今の資料6なんですけれども、一番下の図書館のところに、レイアウト等の変更委託料260万円あるんですが、これは、メインは盗難及びトラブルをなくすということになっているんですが、例えば、盗難の部分でどれぐらいの損失ができるとか、それから、こういうふうなトラブルが発生しているんですよ、近くあることによつてとか。何か具体例があれば教えていただきたいと思うんです。

それが1つと、それから私、緑センターを結構利用させてもらっているんですが、今度、緑センターが外部委託になるという話があって、今度の28日に説明会があるらしいんですけれども、あのチラシを見ると、メインは経費の節減だというふうになっているんですが、社会教育委員会のほうの基本的な方針として、いかにこの施設の利用者を増やそうかというのが非常に大きな命題になっていると私は考えているんですけれども、それと経費の削減と何か関連性はあるのかなど。それをやることによって利用者が増えるのかな、また、経費の節減はどれぐらい削減されるのかなというふうなものも併せて、もし何か実例を持たれてたら教えていただきたいんですが、よろしくお願いいたします。

内田図書館長

まず、レイアウト変更に伴う具体的なトラブルというところですけども、今、死角が非常に多い状況なので、書籍の盗難というのが年間で80万から……。

富田委員

円ですね、それ。

内田図書館長

円です。今、非常に死角の多いレイアウトを見通しのいいレイアウトに変えたいというところがございます。

あと、経費節減というのは委託する以上、行政改革というところで図っていかなきゃいけないことですので、それは当然のことだと考えておまして、現段階でということで申し上げるのであれば、緑センターに関しては、開館時間が午前10時から午後5時になっております。これを、委託に伴うところで午前9時から午後7時まで延ばしていきたいというところ、ほかの分館、貫井北と東がそういう形で既にやっておりますので、図書館協議会のほうに諮問

させていただいたところ、ほかの分館に合わせたほうがいいというところで御答申もいただいています。開館時間の拡大というのは市民要望も非常に高いところもございましたので、立地的なところで緑をどれほど利用されるかというのはあるとは思いますが、そこはご要望に応じていきたいと思っております。

柴田議長 富田委員、いかがでしょうか。

富田委員 何となく分かったような、ちょっとまだもやもやしている部分はあるんですけども、外部委託になると、もうほかのセンターで外部委託されているところがあると思うんですけども、その中でよかったからされるんだろうなという部分もあると思います。

それと、この中で、メインは死角をなくし、盗難と書いてあるんですが、盗難ってそんなにあるんですか。

内田図書館長 今申し上げたように、金額として返っていないのがそれだけありますし、いわゆる冊数で言うと、大体年間400冊ぐらいなくなっているんです。

富田委員 それがレイアウトの問題なのかどうなのかということ私、伺っているんですが。

それが、ここで260万円なんですけれどね。これが妥当なのかどうなのかと。もっとほかにやり方はないのかなと思ったりして。

内田図書館長 いろいろ検討はしたんですけども、現段階で一番適切なんじゃないかと。この間、私どもが巡回したり、職員の配置をいろいろ変えてみて、フロアの人数を変えたり、いろいろやったんですけども、まず、ともかく抜本的に死角が多い、ここをどうにかしないといけないというところがあると思います。

富田委員 まあ、あの棚を見たら、どうしても死角って出てきますよね。

内田図書館長 死角に関しては、どこの図書館も1つ大きな課題にはなっています。その中で、お気づきのように、いろんな図書館に行くと、最近では書架の高さが胸の高さだったり、要するに、見通しがいいという。

ただ、書籍の量がうちは非常に多く抱えていますので、そう簡単に書架の高さを低くできません。まずともかく死角をなくしたいという思いがございます。今回、この措置を取らせていただきます。

富田委員 長々とどうもありがとうございました。

柴田議長 ほかに御意見などございましたら、お願いします。よろしいでしょうか。

鈴木委員 これは、この件、図書館の件についてですか。

柴田議長 資料6の生涯学習部の予算です。

鈴木委員 資料6についてですね。

柴田議長 よろしいですか。

鈴木委員 大丈夫です。

柴田議長 では、資料を御用意いただきましてありがとうございました。その他ということですが、引き続き、何かございますか。

鈴木委員 鈴木です。先日来、事務局の倉澤さんにお調べいただいていた学校支援ボランティアのことなんですけれど、事務局もお忙しいと思いますので、自分で少し調べてみました。176名、令和3年度は学校支援ボランティアについて、登録の方がいらっしゃるようなんですけれど、謝金として500円の図書券をお支払いしている方というのは65名ほどということでした。ただ回数は928回活用していただいている、かなり使っているんだなというところが印象です。

ある小学校の校長先生にお尋ねしたところ、その謝金で渡すカードが足りなくなる、全体として928回使っているみたいですよというお話をしたところ、印象的には図書のカードはそんなにないんじゃないかと。頻繁に使っている学校に使っていない学校のを融通するとか、そういった形でやっているのではないかという御意見で

した。それで、この176名中65名ということは、100名以上の方が登録されているけど、実際に何の活動もされていないということになるのかなとちょっと思いました。

それで、この内訳なんですけれど、データベースのようになっているのではなくて、登録されたものをそのままファイリングされているという形で、都度ごとに学校へ交換便のような形でお送りされているということでした。あと、そこから先の判断は、誰に何を頼むかというのは、学校の判断で頼んでいるので分からないということでした。ひとつ、もう少しここからこれを深めて、先日来提案している人材バンクとか、人がつながりやすい仕組みに生かしていきたいと考えます。

それで、この176名のファイリングは個人情報も入っていて、委員としては見られないので、お手数なんですけど、このうちの内訳のようなものというのをちょっとお調べいただくことってできるでしょうか。お尋ねです。例えば、地域の方なので大学生何名みたいな形でも構わないんですけど。あとは、学習支援ボランティアの希望されているジャンルのようなものまで分かれば助かるんですけど、どうでしょうか。

倉澤生涯学習係長 こちらの学校支援ボランティア登録の管轄は指導室となっていてございまして、先日そういったお問合せが鈴木委員からありましたので、学生とそれ以外の地域の人で分けられるかというのを相談してみたところ、ちょっと難しいという回答をいただいております。

また登録用紙は単年度で全て廃棄しているもので、そういう代々のデータもないということでした。

鈴木委員 じゃ、これは直接、指導室のほうと話をしない限り難しいということですかね、自分で出向いていってお願いするとか、御相談するような形で。ただ、ちょっと見せてもらえない、個人情報が……。

倉澤生涯学習係長 そうですね。

鈴木委員 申請用紙そのものがファイリングされているようなので、できればそこが分かると、もうちょっと半歩ぐらい、先ほどお話にも出ていた地域とか、いろんなことの連携というものに役立つものになっ

ていくんじゃないかなと思うんですけど。何かそこ、うまい方法ないですか。

三浦生涯学習課長 まず、ファイリングがこうなっているのはそのとおりだと思います。それを公開する前提に集めてはございませんので、個人情報が入っているというところで、それを委員の方々にお見せするところまでは少し難しいかと思います。あとはそのカテゴリ別にどういう形態でということですが、指導室のほうと話してみないと、今どんな形でということまではお約束ができません。

ただ、事務方のほうに調べたところだと、単年度廃棄ということになってございますので、積み上げていったデータは今のところないということまでは整理できると思います。

なので、少しお時間をいただいて、どんな形で、どんな御要望があってということまでですか、今日の段階ではですけども、生涯学習課のほうで1回受け取りたいと思います。

鈴木委員 ありがとうございます。

柴田議長 その他につきまして、ほかに何かありますでしょうか。よろしいですか。

最後に私からなんですが、皆様に配付させていただいている、こちらの冊子なんですけれども、コミュニティ・スクールや地域学校協働活動につきまして、一般の住民の方々や保護者の方々が、そもそもコミュニティ・スクールって何だろうという疑問をお持ちであるという調査結果が出たということ根拠にしまして、学生と一緒に学生目線から、コミュニティ・スクールの仕組みについて、文科省の説明のものをもっと掘り下げて解説をつけたというものと、それからコミュニティ・スクールに関わっていらっしゃる小金井市の方々4名にインタビューをさせていただいた記事、この中には、黒木先生や金澤さんに御協力をいただいて作成しております。

それから、こちらのユーチューブ動画なんですけど、学生たちが自主制作した動画です。学校と地域連携することでこんないいことがあるよという動画をつくりました。全部で、地域住民編、保護者編、教員編とありまして、全部で15分ぐらいのもので、もしよ

ろしければ御覧ください。こちらの犬のキャラクターなんですが、コミュニティ・スクールのキャラクターでゆいまるというのを学生が考えまして、普及させていく上でのツールとして、このようなものをつくりました。

それから、この動画の中では、音楽専攻の学生が中心になってコミュニティ・スクールの歌というものを作詞・作曲しまして、楽しい歌になっておりますので、コミュニティ・スクールって堅苦しいものじゃなくて、楽しい、みんなが参加することに意義があって、楽しいものなんだということをまずは伝えたいということで、このようなものを製作しました。御覧いただければと思います。

それでは、最後に、今後の予定につきまして事務局よりお願いいたします。

倉澤生涯学習係長 では、次第の3番、今後の予定を御覧ください。次回、第3回の会議は管外視察となります。予定は本日御案内したとおりですが、何か変更等があれば、メールでお知らせいたします。また、本日出席とお答えいただいた方の中で、急遽欠席される場合は事前にお知らせいただければと思います。

最後、第4回会議が8月21日月曜日、こちらが31期として最後の会議となりますので、よろしく願いいたします。

以上です。

柴田議長

ありがとうございました。

それでは、令和5年度第2回社会教育委員の会議をこれにて終了させていただきます。お疲れさまでした。

— 了 —